

観光バスの運転手のTさんが辞めるところになりました。7月にバスでお客さんを乗せてツアー仕事で走っていた時に速度違反で覆面パトカーに検挙されました、40km規制の道路で約80kmで走行中に捕まったらしく、一発免停だったとの事。実はこれがM旅行社のツアー仕事だったのです。この会社の仕事は行程表の時間設定がキツイのです。時速60kmで走れば1時間で60km進めると本気で思っているようですが、実際は信号で停止したりするので、せめて距離÷40くらいにして時間に余裕を持たせた行程にするべきなのは当たり前です。

実はこのツアー中、添乗員のSが「遅れてるぞ、もっとスピード出せ」等、横柄な態度でものを言っていたそうです。Tさんは色々と言ったらしいのですが、「俺が急かしたとしてもスピードを出したのはお前だろ。お前が捕まったせいで余計に時間が押して迷惑だ」とか言われ、悔しくて仕方がないと言っていたそうです。

刺客登場

この件があってから他の運転手たちがM社の仕事は嫌だ、断わると言ってボイコットしているとの事で私に声が掛った次第。無理な行程を改善して欲しいと頼んでいたが聞いてくれないから、行程表の注意書きの通り、「お客様の安全第一 法定速度遵守」を完全に守った運行をして欲しいとの事。簡単に言えば、M社の添乗員にどんなに急かされようが、法定速度遵守で走れとの事。

そのうえで、もし添乗員が怒って「お前のところはもう使わん」と言ったら社長に言えっ！と言って欲しい、そうなればM社と縁が切れるだろ。こっちから断わるよりも、あっちから切られた方がいいのよと言いながら、「Tさんの仇をとりたいのよ」という社長。こういう義理人情的な事は嫌いじゃないんですよ。ということで、刺客の役を引受けてしまった次第でした（笑）

仇討ち成功

翌朝、盛岡駅にお客さんを迎えに行ったら添乗員はSではなく、Nというオッサンでした。「本日運転を担当させていただきます小川と申します、宜しく御願います」と挨拶をしたら「お前あんま見た事ない顔だな、気つけて走れよ」と言われました。いきなり「お前」呼ばわりですからね。

60km以上は出せないと自分に言い聞かせながら出発。最初の目的地の某高原に到着し、トイレ休憩を取っていた時点で約1時間の遅れが生じ、Nが「予定よりバンバン遅れてんじゃねーか、急げよ」と言いました。「制限速度遵守で走っているんですよ。時間設定ミスじゃないですか？」と言って制限速度遵守で走り続けました。久慈市に到着する頃には約2時間の遅れで、予定をキャンセルして直行した道の駅に到着したのは午後2時前。遅めの昼食を取り、出発、と言っても直ぐに駅に向かわないと新幹線の時間に間に合わないという状況になり盛岡駅に向かって帰路についた次第。盛岡駅でお客様を降ろした後、「お前んところにはもう仕事回さねーからなっ！」と言ったので「そういう話はうちの社長に直接言えよ」と静かに言ったら黙りました。

帰社したら待っていた社長に報告したら「よくやったっ！」と褒めてくれました。

（岩手県大槌町 小川 孝幸）